



【グローバル社会を担うためのグループワーク I】

《目的》

海外勤務等の経験のある社員の方々とのグループワークを通して、船舶産業がグローバル社会において果たす役割を理解し、その重要性を実感する。

《実施内容》

- 日 時 平成29年12月13日(水)
14:00～15:40
- 場 所 今治工業高等学校 大会議室
- 対 象 機械造船科1年生 37名
- 内 容 グローバルな仕事の紹介：産業全般について（講師：今治市）
グループワーク：主題「グローバル社会と日本の産業」



《グループワークの助言者》

- [船舶産業] 今治造船(株)、(一財)日本海事協会、愛媛海運(株)
- [機械産業] 三浦工業(株)、四国溶材(株)



《グローバルな仕事の紹介》

- ・日本は大きな世界の市場で経済活動を行っており、この活動で皆さんの生活を支えている。日本の輸送手段の実態として99.6%は船で運搬している。

《グループワークでの助言の内容》

- ・船の仕事は英語が基本。文化は違うが分かり合うことでうまくいく。
- ・海外でコミュニケーションを取る上で大切なことは、相手の話を理解しようとする心。理解しようとする心が大切。
- ・英語はツール。英語ができないから仕事ができない、ということではない。

《生徒が学んだこと・これから取り組みたいこと》

- ・上手く話せるかどうかより自分の気持ちをどう伝えるかが大切ということ。
- ・船の仕事は、英語が基本であり、文化は違うが、互いに分かり合うことで上手くいくということ学びました。
- ・高校生の時は、幅広く勉強することが大事であり、今学んでいることは、将来きっと役に立つということが分かりました。

《SPH推進アドバイザー岡田さんの助言》

- ・前年度の反省に基づいて改善し、ひざを交えて少人数で行ったグループワークは、意思疎通がスムーズであり、効果的な取組となっていた。
- ・生徒が、事前にインターネットで企業のことを調べたり、質問内容を考えたりすることで、活発な協議が行われ、生徒の主体的な活動が見られた。

